

2/4 戦没者の鎮魂と恒久平和を願って 第60回 京都の塔戦没者慰霊祭追悼式

嘉数高台公園内において「第60回京都の塔戦没者慰霊祭追悼式」が執り行われ、関係者やご遺族の方々が参列し、戦没者を追悼しました。また、前日には、嘉数区公民館にて「令和6年度 第60回沖縄京都の塔慰霊巡拝記念式典」が開催され、長年にわたり、京都の塔の保全および環境維持に貢献したとして、嘉数区自治会に感謝状が贈呈されました。



2/14 人と人がつながり、支え合うまち 地域支え合い活動委員会報告・研修会



地域支え合い活動委員や市内自治会関係者などが参加する「令和6年度活動報告会・研修会」が宜野湾市社会福祉センターにて開催されました。真栄原区および新城区地域支え合い活動委員会による活動実践報告や「住みたいまちってどんなまち？ できることから始めよう！」をテーマとしたグループワークが行われ、参加者の皆さんによる意見交換が行われました。

2/14 15年にわたり人権擁護啓発に貢献 島袋盛子さん 法務大臣表彰受賞報告



人権擁護委員の島袋盛子さんと関係者が市役所を訪れ、法務大臣表彰を受賞したことを報告しました。人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いや、人権についての啓発活動を行っております。島袋さんは「仲間の協力や家族の理解があってこそこの受賞だと思います。これからも更なる人権啓発活動に努め、いじめのない世の中へ解決の一步となるよう精進したいです」と話しました。

2/15 さまざまな体験を通して、めざせ「わらば～名人！」 令和6年度 第25期わらば～体験じゅく閉校式&開校25周年記念感謝状贈呈式



山芋スーブ(勝負)の様子▲

令和6年度 第25期わらば～体験じゅく閉校式が市立博物館で執り行われ、参加したじゅく生の皆さんに修了証書が授与されました。市内在住の小学校5～6年生を対象に、郷土の自然や文化などを体験して学習するとともに、他校や異学年の生徒や地域の講師たちと交流することを目的として開催されています。6月の開校式から様々な体験学習を行ってきたじゅく生の皆さんからは「山芋スーブ(勝負)で大きな山芋を掘るのに苦労した」「漆の技法体験が難しかったけど面白かった！」と体験の感想や「体験中、みんなとどんどん仲良くなった」「知らないことを講師の皆さんにたくさん教えてもらいました」と感謝の言葉が聞かれました。また、開校25周年記念として、これまで長く講師として関わっていただいた地域の皆さんへ感謝状が贈呈されました。



マリ支援センターでダイビング体験▲



博物館探検▲



牛の世話をするじゅく生▲



喜友名のシーサーめぐり▲

1/27 チームが一体となって奏でる珠玉のアンサンブル 九州アンサンブルコンテスト出場報告



嘉数小学校吹奏楽部の皆さんが市役所を訪れ、昨年12月にうるま市で開催された「第49回沖縄県アンサンブルコンテスト」にて同校出場2チームがともに金賞を受賞し、うち1チームが九州大会に出場することを報告しました。部員の皆さんは「沖縄大会では、2チームが互いの演奏を聞き合い切磋琢磨して来ました。九州大会では、仲間を信じ、自分たちの音楽を奏でられるよう頑張ります」と意気込みを語りました。

2/4 「第五次宜野湾市総合計画」の策定に向けた 宜野湾市振興計画審議会からの答申書手交

宜野湾市では、現在の第四次宜野湾市総合計画が令和6年度までの計画期間となっていることから、令和7年度を初年度とする新たな総合計画である「第五次宜野湾市総合計画」の策定を進めております。この度、宜野湾市振興計画審議会の瀬口浩一会長より、「第五次宜野湾市総合計画前期基本計画(案)」および「第三期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」の答申をいただきました。答申にあたり、瀬口会長より、審議会において活発な意見が交わされたことなどが話されました。



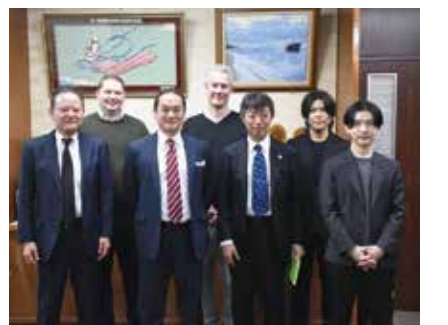
おそぐち こういち

1/20 家族への想いが詰まった発表でした 沖縄県小中学校 童話・お話・意見発表大会 中頭地区大会 出場報告



1/16 窓口予約システム「FrontDesk」 トライアル実証事業に伴う市長表敬

窓口予約システム「FrontDesk」のトライアル実証事業開始に先立ち、デンマークの企業フロントデスク社と株式会社TACTの関係者が市役所を訪れました。『FrontDesk』は「待たない」窓口を実現するシステムです。フロントデスク社CEOのニコラス・ラーセンさんは「デジタル化を推進することにより、コスト削減だけでなく、市民へのサービス向上、職員の負担軽減に寄与することを目指しています。今回、宜野湾市役所でのデジタル化推進に貢献することができ、非常に嬉しく思います」と話しました。



1/25 宜野湾市女性連合会 創立75周年記念 「講演と演芸の集い」開催



みやその みねこ

今年度、創立75周年を迎える宜野湾市女性連合会(宮園峰子会長)の記念事業「講演と演芸の集い」が開催され、多くの来場者が会の周年を祝福しました。宮園会長は「これからも、楽しくなやかに、したたかに、魅力ある女性会を目指し、一層努力してまいります」とあいさつしました。式典は、行政書士の小林郁子さんによる講演や、合唱、ダンス、うちなあぐち芝居「察度王」が演じられ、会場を盛り上げました。

宜野湾中学校2年の佐藤希さんが市役所を訪れ「令和6年度沖縄県小中学校 童話・お話・意見発表大会 中頭地区大会」へ出場したことを報告しました。宜野湾市中学生の部代表として出場した佐藤さんは、タイトル「寄り添う」を発表し、お父さんの車を押している時の視線が気になるという悩みから、偏見とは正解でも間違いでもなく価値観の違いであり、本当の多様性とは、人々に強要するのではなく、社会が人々に寄り添い、人々が個人に寄り添う思いやりの連鎖の中で協力していくことだとの思いを伝えました。佐藤さんは「この大会に出て、自分と同じように家族に障がい者がいるよって声をかけてくれた方が多く、それがすごくうれしかったです。同じことを考えている人に出会える機会になって、それが自分にとっての糧になる大会でした」と話しました。